

日本機械学会 関西支部便り2015

関西支部長から関西支部の活動のご紹介

第91期関西支部長 野村 剛 (パナソニック株)

関西支部は、「関西地域における機械分野の学術および技術の進歩を図り、かつ工業の発展に尽くす」ことを目的として、様々な活動を展開して参りました。それらの活動が多くの局面において先進的であり、各界の注目を集めてきたのはご承知の通りです。

我が国は、アベノミクスや日銀の金融政策によって円安が進み、大手企業の業績の急回復や官邸主導の賃上げが進み、ようやくデフレからの脱却が進みつつあります。そして、海外からの旅行者がメイドインジャパンの製品を競って購入し始めました。我が国が労働者人口の減少を乗り越え発展するためには、このような優れた製品のモノづくりをより活発に行っていくしか方法はありません。また、ドイツがインダストリ4.0というITを駆使したモノづくりを世界に広めようとしており、これらと連携していく必要があります。このようなモノづくりの中

核を担う機械工業と機械工学に求められているものは、技術革新を中心としたイノベーションとそれを支える学術と工学教育の発展であり、つまりは人材育成です。関西という自由闊達な地域において、産学の交流を促進し、企業と教育機関の持てる力を結集して社会の要請にこたえていくことが関西支部の役割であります。

関西支部では、定時総会講演会・卒業研究発表講演会、懇話会による秋季技術交流フォーラムや専門部会などの学術・技術交流事業、講習会・見学会・ステップアップセミナー・特別フォーラムなどの教育・啓発事業、大学・高専と企業の交流を図るメカボケーション事業を企画・運営しています。さらに関西学生会による「メカライフの世界」展、シニア会による「親と子の理科工作教室」等を通じた社会との交流事業も行っています。これらの事業を今期も推進し、さらなる活性化に努めて参ります。

関西学生会

関西学生会は関西地区の24の大学・高専の学生員で構成され、各校を代表する運営委員50名余を中心に活動しています。その活動は毎年11月の「メカライフの世界」展と3月の卒業研究発表会という二大イベントの他に、工場見学会やシニア会との交流会などがあり、運営委員会を年に8回程度開いて、学生が主体で活動しています。

昨年も11月15日(土)・16日(日)の2日間、バンドー神戸青少年科学館において小中学生を対象に機械工学に関するモノを実際に「みて」、「ふれて」、「たいけん」し、機械のしくみやモノづくりの楽しさを体験してもらう「メカライフの世界」展が開催され、のべ881名の来場者を迎え大盛況でした。来場者アンケートでは、来場者の100%

の方に「とても楽しかった」あるいは「楽しかった」と答えていただき、子供たちから「また来年も来たい」、との意見ももらい、学生達も苦勞が報われて大変嬉しかったようです。活動に携わった学生達は一年後には見違えるほどに成長し、その活動は貴重な経験になっていると思います。

今年度も、昨年に負けない企画を学生諸君が鋭意準備中です。関西学生会の活動について詳しくは、関西支部HP内の関西学生会のページをご覧ください。



技術情報誌 MECHAVOCATION 2015

MECHAVOCATIONは「機械技術者の天職」という意味の事業で、1993年度より展開し、関西に拠点を置く産業界と学界の交流の場を種々提供して参りました。

MECHAVOCATION2015はその核となる技術情報誌で、主として①関西支部賞受賞技術紹介、②協賛いただいた企業の紹介、③関西地域の大学・短大・高専の学校紹介から構成されており、日頃企業を知る機会の少ない学生

にとって将来の進路選択の媒体として有用な手段となっています。毎年、関西地区の機械系学生約6,500名、全国160校の就職担当教職員および協賛企業に配布する一方、インターネット版を公開し、支部と学校、企業を結ぶ情報媒体として広く活用いただいています。就職事情の厳しさが問題となっている現在、学生と企業の間を取りもつ社会貢献の役割を果たしています。

学生のための企業技術発表会

MECHAVOCATION 刊行に付随する事業として、2014年12月13日(土)に関西大学千里山キャンパスで「学生のための企業技術発表会」を開催しました。今回で12回目を迎えるこの発表会は、企業が機械系の学生参加者に各社の独自技術を紹介するユニークな企画で、今回は技術情報誌2015協賛企業の中から56社(120名)と、参加校18校417名(教員10名、学生407名)の計537名が出席しました。前半は企業のショートプレゼンテーション、後半はブースに分かれた個別説明が行われました。夕方からは凜風館で「懇親会」が開催され、学生、大学・高専および企業からの参加者が交流し、学生参加者は日頃学んでいる機械工学が実際に企業でどのように役立っているのかを

知ることができました。なお、毎年、この企画に合わせて午前中に行われていた学生側の研究内容を企業参加者に紹介するポスターセッションは、今年度より、3月の定時総会・講演会において「メカボケーション学生発表セッション」として開催されました。

2015年度の「学生のための企業技術発表会」は12月12日(土)に関西大学で開催が予定されています。



第90期定時総会・講演会・

2014年度関西学生会学生員卒業研究発表講演会

関西支部最大の行事である定時総会・講演会・関西学生会学生員卒業研究発表講演会が2015年3月14日、16・17日に京都大学桂キャンパス(京都市)で開催されました。第90期目の定時総会・講演会では553名の参加のもと、基調講演4件のほか、今期新たな試みとなる研究討論セッション69件、修士研究発表セッション153件、メカボケーション学生研究発表セッション95件、および関西支部賞受賞記念講演2件を含む計323件の講演発表と、京都大学小森悟氏による「大気・海洋間の運動量、熱および物質の輸送機構の解明とモデル化」、華道家元池坊池坊由紀氏による「いけばなその形がうつす「動」の心」の特別講演がありました。定時総会では定例の議案審議の後、関西支部賞3件、90周年功労者表彰、学生員増強功労者9校の表彰が行われました。また、関西学生会卒研発表講演会では、728名の参加者があり、ヤマハ(株)久湊祐司氏による「歌声合成システム VOCALOID™の過去、現在、未来」の特別講演が行われたほか、学生員による411件の講演発表があり、座長も学生員が務め、活発な講演会となりました。懇親会では、支部長から Best Presentation Awards が40名の学生員に贈呈されました。さらに、3月13日には定時総会見学会が(株)堀場製作所本社工場で催され、分析アプリケーションセンターと自動車計測分野の研究開発ラボラトリー等を見学させていただきました。

組織と活動の概要

関西支部は、定時総会講演会のほか、産官学の研究者が集う9つの懇話会の企画による秋季技術交流フォーラムや、商議員・代表会員が専門分野ごとに所属する5つの専門部会の協力の下に講習会を年6回開催しています。また、学生員が主体的に運営している関西学生会や、経験・知識で社会貢献等に取り組むシニア会が活発に活動すると同時に、幹事会を毎月開催し、年3回の商議員会と定時総会で意見交換しながら、支部運営を進めています。

第91期 2015年度主要行事（予定）

'15.04	第1回商議員会・専門部会
'15.05	第337回講習会
'15.07	第338回講習会
'15.08	「機械の日・機械週間」記念行事
'15.09	第2回商議員会・専門部会
	特別フォーラム 第643回見学会
'15.10	第339回講習会
	第16回秋季技術交流フォーラム [滋賀県立大学]
'15.11	第340回講習会
	ステップアップ・セミナー2015
	関西学生会「メカライフの世界」展 第341回講習会
'15.12	MECHAVOCATION2016「学生のための企業技術発表会」
'16.01	第342回講習会
'16.02	旧新商議員会・専門部会
	就職に関する企業と学校の交流会
'16.03	関西学生会卒研発表講演会[大阪電気通信大学]
	第91期定時総会・講演会 [大阪電気通信大学]
	第91期定時総会見学会